石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

最新の情報は大学HPで。

少人数教育で学修者本位の学び提供

年頭の抱負

尾池 守 石巻専修大学長

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

1989年4月1日に石巻地域唯一の高等教育機関として創立した本学は、おかげさまでこの4月に創立35周年を迎えます。関連する皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

本学は建学の精神「社会に対する報恩奉仕」の下、21世紀ビジョン「社会知性の開発」を理念として掲げ、「社会の諸問題に、自分の役割を自覚して取り組むために、生涯にわたって学び続けることができる人材」を育成します。そのために、少人数教育で学生一人一人に適した「学修者本位の学び」を提供する大学運営を目指しています。

創立30周年を機に設定した第1次中長期ビジョンに基づいて、社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材の育成を実践しています。

第1次中長期ビジョン（2020～2024年度）

1. 社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材を育成する
2. 教育研究活動を充実させる
3. 学習の質を向上させる環境を整備する

時代の変化と要請に独自性を持って対応

時代の変化と社会の要請に対応し、独自性を発展的に実現するため、経営学部情報マネジメント学科を設置し、理工学部教育課程の改編として生物科学科と食環境学科を発展的に統合しました。

また、機械工学科と情報電子工学科では学科横断型のカリキュラムやPBL型授業を取り入れ、情報に基づいてモノやシステムを創る両学科の融合性を高めました。人間学部では、人間文化学科でコース制の導入、人間教育学科はICTを取り入れたカリキュラム改定を進めました。その結果、3学部は10コース・5モデルで構成されており、夢の実現に向けて、学生一人一人に適した学修者本位の学びを提供しております。

しかしながら、東日本大震災からの復興途上で生じた新型コロナ禍は昨年5月に「5類」に緩和されたとはいえ、地域経済の疲弊は想定以上のものであり、人口減少と少子高齢化が急速に進む中、地方創生が喫緊の課題となっております。

地方大学への期待に対応する施策を検討

これまで以上に、地方における大学の役割が期待されていますが、現在、これらに対応する施策を検討しており、更なる推進を図るつもりです。例えば、関東圏や首都圏の若者が、地域貢献について考え、地域資源への理解度を深めるために、石巻圏域を学修フィールドとする本学で地域課題の解決手法を実践的に学んでいただき、その成果をバネに卒業後は関東圏や首都圏に打って出ていただくものです。

理工・経営・人間の3学部を基盤とした多様な学問領域を有する総合大学の特色を生かし、文理横断型の教育研究活動や社会知性で地域課題を解決し、その成果を世界に発信する「地域に根ざして世界に尖がった大学」を目指していきます。

本年も皆様方のご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

過去最多 17人が合格

公立教員採用試験
公立保育士試験

尾池学長（前列左から４人目）と合格者、教員ら＝12月12日

2023年度の公立学校の教員採用試験に理工学部2人、人間学部9人の計11人が合格した。公立保育士試験も人間学部の6人が合格し、両試験を合わせた合格者数は過去最多の17人となった。合格者の氏名は別表参照。

本学では、「保育士・教員養成センター」を設け、採用試験合格を目指す学生に対してさまざまなサポートを展開している。長谷川日菜さんは「先生方のサポートが心強く、教職対策ゼミのおかげで落ち着いて受験することができた。大学で学んだことを生かし、人を思いやる気持ちを忘れずに職務に取り組んでいきたい」と話した。

合格者たちは、12月12日には尾池守学長に合格を報告した。尾池学長は「過去最多の合格者を輩出できたことは大変喜ばしい。本学で学んだことを、教育現場でしっかりと生かしてほしい」と激励の言葉を送った。

【公立学校教員採用試験】

中学校（理科）	
上村　朋範	理工・岩手県水沢高
阿部　文哉	理工・宮城県石巻高
小学校	
阿部　拓登	人間・青森県田名部高
小野寺果菜	人間・宮城県石巻西高
高橋　巧	人間・宮城県佐沼高
芳川　雅	人間・宮城県古川高
三塚　奈央	人間・宮城県築館高
宮口　大空	人間・宮城県多賀城高
長谷川日菜	人間・青森県弘前学院聖愛高
玉井　響	人間・青森県三沢高
米川　海斗	人間・山形県長井高

【公立保育士試験】

丹野　愛香	人間・宮城県石巻西高
遠藤わかな	人間・宮城県石巻西高
平田　真有	人間・宮城県桜坂高
佐藤　真澄	人間・宮城県仙台育英学園高
只野　諒	人間・宮城県中新田高
折居　未夢	人間・宮城県塩釜高

※敬称略。氏名に続き学部・出身高。学年は４年次

みやぎふるさとCM大賞

石巻の魅力伝える映像作品 3学部の学生が共同制作

青と緑のコントラストを表現したワンシーン

宮城県内の市区町村が、30秒のオリジナルCMを通して魅力をPRする「みやぎふるさとCM大賞」（khb東日本放送主催）。2023年の石巻市の応募作品を、本学学生が制作した。

参加者は、理工学部の成田歩さん（4年次・福島県福島明成高）、経営学部の佐藤侑哉さん（3年次・宮城県貞山高）、遠藤魁さん（2年次・宮城県石巻西高）、人間学部2年次の尾内梨穂さん（鹿児島県屋久島おおぞら高）、大樂末咲さん（福島県郡山東高）、中山さくらさん（宮城県築館高）、紺野朝夢さん（宮城県大崎中央高）。

映像制作に興味を持つ7人は、市より依頼を受けた5月から9月にかけて、企画、撮影、編集などに主体的に取り組んだ。

完成したCMのタイトルは「自然が調和するまち」。石巻が誇る豊富な食材、海や空の青さと木々の緑のコントラストの美しさなど、ありのままの魅力を表現し、「豊かな自然の恩恵を受けて、私たちの生活が成り立っていること」を伝えた。

12月2日、khb東日本放送「ぐりりホール」（仙台市）で行われた審査発表会には、佐藤さんと遠藤さんが出席。遠藤さんが登壇し、作品の魅力を紹介した。残念ながら入賞は逃したものの、学生にとって、次につながる気づきや教訓を得る貴重な体験となった。

佐藤さん（左）と遠藤さん

石巻市出身・菅原選手 本学でサッカーフェスタ開催

人間学部 永山・高橋研究室が協力

スポーツリバーシを楽しむ子どもたち

12月9日、本学多目的グラウンドで「ベガルタ仙台　菅原龍之助選手サッカーフェスタin石巻専修大学」（石巻サッカー協会主催）が行われた。

菅原選手は、石巻市から誕生したJリーガー。今回のイベントは、地元のサッカー少年・少女に夢と希望を与えるとともに、石巻地域の競技レベルの向上、サッカーを通じた地域活性化を図ることを目的に開催された。

人間学部の永山貴洋准教授と高橋功祐助教の研究室に所属する学生たちも運営に協力した。ドッジボールやスポーツリバーシなど、手軽にできる運動を楽しむ「石巻専修大学スポーツ教室」を開き、イベントの盛り上げに一役買った。当日は天候にも恵まれ、児童約180人が参加。小学校高学年は「サッカー教室」、低学年は「スポーツ教室」に分かれ、楽しく汗を流した。

海洋生物・環境基礎演習

卒業生・大谷さんが講演

理工学部生物科学科の2年次後期科目「海洋生物・環境基礎演習」では、海洋生物や水環境の研究者などを招き、専門的知識を深める特別授業を行っている。12月13日は、本学卒業生で仙台うみの杜水族館飼育員の大谷明範さん（平15理工）が、「私的水族館学概論～飼育員が考える、水族館はなにをするところか？」と題して講演した。

大谷さんは、水族館の役割や異常時における生物の飼育管理などについて説明。ヨシキリザメを例に、他の水族館にはない展示・企画・研究を紹介したほか、新種のアンコウ発見時の興味深いエピソードなどを語った。また、本学と関わりの深い、石巻における未利用魚・低利用魚活用の取り組みにも触れた。

学科には水族館への就職希望者も多く、学生たちは、現役飼育員ならではの経験談やアドバイスに耳を傾けていた。

水族館での経験を話した大谷さん

出願受付中
★詳細はホームページで必ずご確認ください。
【一般選抜A日程】【特待生選抜】
試験日　1/30（火）
出願締切日　1/19（金）※消印有効
【一般選抜B日程】
試験日　3/2（土）
出願期間　2/5（月）～22（木）※消印有効
【大学入学共通テスト利用選抜B日程】
出願期間　2/5（月）～15（木）※消印有効